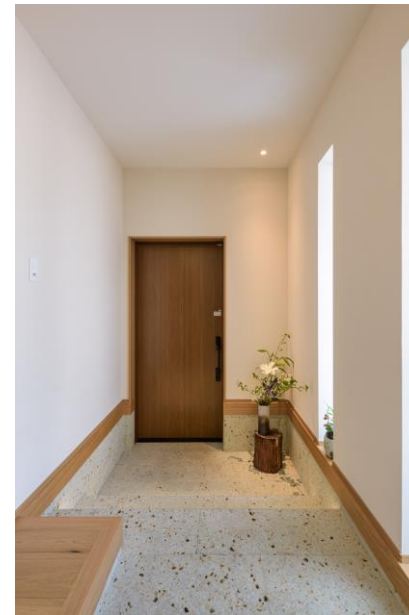


西川材や青森のヒバなど国内の銘木と「大谷石」を使った
【自然の癒やしサロン&住まい】



▲大谷石のマイナスイオン・調湿効果を取り入れた玄関



▲アロマ・サロンを併用するため、開閉式の扉を設置したリビング・ダイニング



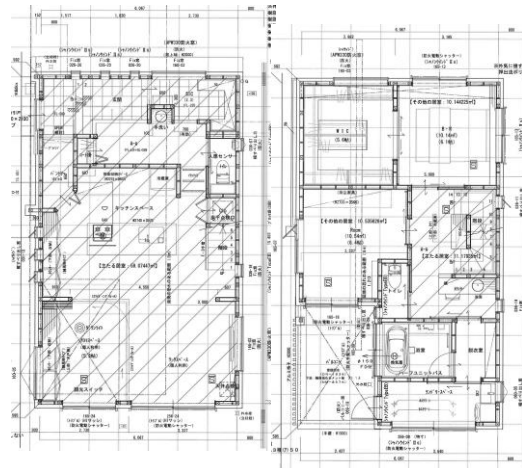
▲造作棚などには県産材である西川材を活用

自宅の中に奥さまのアロマ・サロンを作るために設計された「自然の素材から感じる【癒やし】」をテーマとした建築。
県産材である「西川材」を、構造材だけでなく、キッチン背面の造作食器棚や開閉式の収納、さらに木目を活かしたリビング階段など、ふんだんに活用。人目で「木の癒やし」を感じる空間設計とした。

さらに、玄関の土間スペースには【大谷石】を活用。タイルとは違ったその「風合い」を楽しみながら、「ゼオライト」成分を含む大谷石は、多数のマイナスイオンと強い遠赤外線を放出し、癒し効果を発揮。更に「調湿」「防臭」効果もあり玄関に一步踏み入ると心身ともに癒される。

さらなる「癒やし」をテーマとした設計として、青森ヒバを使い、木格子で外からの視線をカットした浴室空間。さながら「温泉宿」に来ているようなバスタイムを香りと視覚で楽しむように設計している。

「癒やし」をテーマとしながら、「木」と「石」という自然素材を使い五感に訴える設計を行った。



▲浴室や階段などにも自然素材をふんだんに活用